

計画事業番号	00213	事務事業名	外国語指導助手活用事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	-------------	------	----------	----	--------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	-			
事務事業開始年度	平成3年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 7 ) 社会の変化や課題に対応した教育の推進	
2 対象	市立小中学校の児童生徒	
3 目的と内容	児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力、国際理解の育成向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手(ALT)を派遣し、外国語授業等の充実を図る。	
4 実施内容(手段)	2017年度まで	英語指導助手4名を任用し、中学校の外国語授業及び小学校の外国語活動を教員とともにチーム・ティーチング形式で行う。
	2018年度	英語指導助手5名を任用し、中学校の外国語授業及び小学校の外国語活動を教員とともにチーム・ティーチング形式で行う。

## 【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度	2019年度	2020年度
計画	実績	計画	計画	計画
英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	・英語指導助手を4名配置 ・小学校派遣 指導時数1,153時間(校時) ・中学校派遣 指導時数1,092時間(校時)	英語指導助手5名を計画的に各小中学校に派遣	英語指導助手5名を計画的に各小中学校に派遣	英語指導助手5名を計画的に各小中学校に派遣

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	保留	2017推進計画の決定による。	
1次評価	拡大	学習指導要領の改訂により、小学校における外国語(英語)の指導時数が増となることに伴い、指導助手の増員により充実した授業を行っていく。	
2次評価	拡大	1次評価のとおり、外国語授業等の充実を図るため、拡大する。	

「拡大」  
「現状継続」  
「要検討」  
「見直し」  
「統合」  
「休止・廃止」  
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		15,523	18,353	18,316	18,316		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	15,523	18,353	18,316	18,316	
	① 合計	15,523	18,353	18,316	18,316		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0
	総事業費①+④	17,203	20,033	19,996	19,996		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①小学校でのALTによる年間指導時数	目標値	1,165	1,165	1,165	1,165
		実績値	1,153			
	②中学校でのALTによる年間指導時数	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100
		実績値	1,092			
	③全小学校における年間外国語活動時数	目標値	1,295	1,295	1,295	1,295
		実績値	1,230			
	④中学校における年間外国語授業時数	目標値	8,260	8,260	8,260	8,260
		実績値	8,202			
成果指標	① (小)ALTによる指導時数割合	目標値	90	90	90	90
		【指標の定義(算式等)】 実績値	94			
	② (中)ALTによる指導時数割合	目標値	25	25	25	25
		【指標の定義(算式等)】 実績値	13			
	③	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
<b>妥当性</b> ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	国際化社会に対応するため、特に英語でのコミュニケーション能力の向上が求められており、ほとんどすべての自治体に配置されている。
<b>達成度</b> ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	学校との協議により、現状の人員を最大限効率的に活用できるように調整して派遣している。
<b>成果向上</b> ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	英語が堪能な退職者等にボランティアで協力していただくことができれば、より多くの成果が期待できる。
<b>経済性</b> ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	ネイティブとの会話以上に効果が上がる学習方法は、現状では考えられない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。